

写真のフロンティア

ヒューマニズムの視座から

4月15日(金)～7月10日(日)

主催：北海道立釧路芸術館、北海道新聞釧路支社
 後援：釧路市、釧路市教育委員会、NHK釧路放送局、FMくしろ
 協賛：道立釧路芸術館ホボ&ももの会、釧路芸術館ボランティアの会SOA
 協力：写真文化首都「写真の町」東川町



I 現代の人間讃歌 ～生命の輝き～

私たち人間は、それぞれ気候・風土が異なる国や地域で生活している。そこには家族や友人たちとの暮らし、社会人としての営み、あるいは神への祈りや祝祭の儀式などがあり、多種多様な人間模様を見ることができる。写真家たちはそうした個々の場面における人間たちのさまざまな姿や表情を的確に記録にとどめる。それは現代の人間讃歌なのである。

no.	作家名	作品タイトル	制作年	技法	画像サイズ	受賞	回
1	奈良原一高	『ヴェネツィアの光』より #36	1980	発色現像方式印画	539W×223H	国内	3
2		『ヴェネツィアの光』より #38	1986		537W×220H		
3		『ヴェネツィアの光』より #43	1986		220W×539H		
4	渡部雄吉	『神楽1973-1988』より 遠山祭り「火をきりて」	1988	ゼラチン・シルバー・プリント	471W×320H	国内	5
5		『神楽1973-1988』より 比婆荒神神楽「国ゆずり」	1988		319W×470H		
6		「別海村」より	1959		189W×248H		
7		「知床岬」より	1963		286W×189H		
8		「知床岬」より	1963		187W×284H		
9	菅 洋志	『ミャンマー黄金』より 瞑 早朝の祈り、ヤンゴン	1997	発色現像方式印画	750W×500H	国内	14
10		『ミャンマー黄金』より 瞑 托鉢、ヤンゴン	1997		750W×500H		
11		『ミャンマー黄金』より 衆 下校中の小学生、ヤンゴン	1997		750W×500H		
12		『ミャンマー黄金』より 衆 市場にて、ヤンゴン	1997		750W×500H		
13	齋藤亮一	『Lost China』より 重慶/ある従業員たちの昼食風景	2002	ゼラチン・シルバー・プリント	569W×454H	国内	19
14		『Lost China』より 西安/まんじゅうを売る娘	2002		568W×453H		
15		『Lost China』より 長沙/子ども相手のささやかな商売	2002		568W×452H		
16		『Lost China』より 吉林/仕事を待つ男たち	2002		568W×445H		
17		『Lost China』より 長春/立ち話に興じる女性たち	2002		572W×452H		
18	金 秀男	『韓国のクッ(巫祭)』より 神母から巫具である扇子と鈴をもらい受け、初めてのクッを行っている。	1983	ゼラチン・シルバー・プリント	358W×238H	海外	11
19		『韓国のクッ(巫祭)』より 巨済島の豊漁祭(1)	1983		357W×239H		
20		『韓国のクッ(巫祭)』より 恩山ビョルシン(別神)祭	1983		358W×238H		
21		『韓国のクッ(巫祭)』より 撫魂クッ(2)	1983		360W×240H		
22		『韓国のクッ(巫祭)』より 水亡クッ(3)	1983		357W×238H		
23	クラウド・エディンガー	『カルナバル』より フレヴォ楽団/レシーフェ 1992年	1992	ゼラチン・シルバー・プリント	378W×377H	海外	15
24		『カルナバル』より 街角カーニバル/オリンダ 1992年	1992		380W×378H		
25		『カルナバル』より ポン・デ・アスカールの舞踏会/リオデジャネイロ 1991年	1991		379W×375H		
26		『カルナバル』より ミス・フレヴォの舞踏会/レシーフェ 1992年	1992		378W×378H		
27		『カルナバル』より ハワイの舞踏会/リオデジャネイロ 1991年	1991		383W×380H		
28	アンドリュース・グランツ	「ラトビア・移ろいとたたずみ」より ユルマラ、マヨリ、1999	1999	ゼラチン・シルバー・プリント	381W×256H	海外	17
29		「ラトビア・移ろいとたたずみ」より スティクリ、1999	1999		375W×254H		
30		「ラトビア・移ろいとたたずみ」より ドベレ、学校の遠足、1999	1999		378W×255H		
31		「ラトビア・旅人のメモ」より リガ、2000	2000		376W×258H		
32		「ラトビア・旅人のメモ」より サビレ、2000	2000		382W×256H		
33	クラウド・ミッテルドルフ	《ザ・ラストクライ》より 水の精	1994	インクジェット・プリント	449W×349H	海外	24
34		《ザ・ラストクライ》より コース	1993		500W×350H		
35		《ザ・ラストクライ》より 叫びⅡ	1994		350W×499H		
36		《ザ・ラストクライ》より 爆発	1993		600W×400H		
37	今岡昌子	『Re·birth～ガレキの隣のオンナたち』より 「コソボ紛争」戦争が終わり、自宅に帰還した人々	1999	インクジェット・プリント	541W×416H	新人	23
38		『Re·birth～ガレキの隣のオンナたち』より 「インド地震」震災により倒壊した建物、女性	2001		541W×416H		
39		『Re·birth～ガレキの隣のオンナたち』より 「アフガニスタン紛争」	1999		541W×416H		
40		『Re·birth～ガレキの隣のオンナたち』より 「アフガニスタン紛争」女子の就学は、子供、とりわけ女子に就学させない地域や時期があった	2002		541W×416H		
41		『Re·birth～ガレキの隣のオンナたち』より 「アフガニスタン紛争」ナンを焼いて生計を立てる女性	2002		500W×375H		

no.	作家名	作品タイトル	制作年	技法	画像サイズ	受賞	回
42	初沢亜利	威興	2012	インクジェット・プリント	372W×560H	新人	29
43		平壤	2011		372W×560H		
44		平壤	2011		371W×559H		
45		平壤	2011		371.5W×559H		
46		新義州	2012		370.5W×559H		
47	掛川源一郎	「シマフクロウのイヨマンテ」より 前夜祭の儀式。シマフクロウのおり(カムイセツ)の前で古 老たちが敬虔な祈りをささげ、女たちはセツの周りをリムセ (輪舞)してシマフクロウを慰める。	1983	ゼラチン・シルバー・プリント	485W×350H	特別	7
48		「シマフクロウのイヨマンテ」より シマフクロウは祭壇の前で解体され、器に持って捧げ、屋内の 祭壇に供える。ただし解体はカモを代用した。	1983		485W×350H		
49		「シマフクロウのイヨマンテ」より コタンの長老として日川善次郎エカシ(故人)は祭祀にはなくては ならぬ存在でエカシのアイヌ語の祈詞は低くおもしろかった。	1983		347W×485H		
50		「シマフクロウのイヨマンテ」より 子どもたちも先祖伝来の古風な儀式を真剣に見守っていた。 右は四宅豊次郎(阿寒アイヌ民族文化保存会長)	1983		485W×350H		
51		「シマフクロウのイヨマンテ」より 祭主の長老弟子豊次氏が天高く矢を放って、カムイの帰る 道すじをつける。	1983		485W×350H		
52	深瀬昌久	1987年。上段左から昌久、了暉、助造の遺影、卓也。中段左 から明子、みつゑ、大光寺久。下段左から学、京子、可南子と 都の遺影。	1987	ゼラチン・シルバー・プリント	293W×391H	特別	8
53		1972年。左は昌久。右は助造。	1972		293W×391H		
54		1972年。左は助造。右はみつゑ。	1972		293W×391H		
55		1974年。助造。	1974		291W×391H		
56		1974年。昌久。	1974		293W×391H		
57		1985年。左は昌久。右は助造。	1985		293W×391H		

II 現代のトポス ～都市と自然～

地球上に生活する私たち人間は、自然の豊かな恵みに生かされ、時にはその脅威にさらされながらも、豊かな文明や文化を築いてきた。都市化が進んだ地域の景観や、人々の生の痕跡がわがわがの情景、そして大自然の姿をとどめつつも、私たちの生活を支える現代の科学技術と共存している風景など、写真家たちは現代のトポスをつぶさに見つめカメラに収める。

no.	作家名	作品タイトル	制作年	技法	画像サイズ	受賞	回
58	篠山紀信	「シノラマ」より	1985	発色現像方式印画	921W×288H	国内	2
59		「シノラマ」より	1985		629W×299H		
60		「シノラマ」より	1985		796W×288H		
61	村井 修	『石の記憶』より 京都府京都市左京区 平安神宮	1989	ゼラチン・シルバー・プリント	325W×273H	国内	6
62		『石の記憶』より 熊本県熊本市 熊本城	1989		235W×350H		
63		『石の記憶』より 香川県高松市 玉藻公園	1989		345W×240H		
64		『石の記憶』より 埼玉県秩父市宇山田 金昌寺	1989		270W×325H		
65		『石の記憶』より 新潟県佐渡郡真野町 梨ノ木地蔵	1989		273W×259H		
66	橋口謙二	『Berlin』より シューンハウザー通り プレンツラウアーベルグ	1991	ゼラチン・シルバー・プリント	316W×323H	国内	8
67		『Berlin』より オラニエンブルグ街 ミッテ	1991		319W×318H		
68		『Berlin』より Uバーン デイミトロフ街駅	1991		314W×320H		
69		『Berlin』より 労働者のためのアパート ミッテ	1991		316W×319H		
70	『Berlin』より 中庭 プレンツラウアーベルグ	1991	316W×323H				
71	畠山直哉	「Lime Works」より 沖縄	1996	発色現像方式印画	381W×307H	国内	16
72		「Lime Works」より 津久見	1996		381W×307H		
73		「Lime Works」より 北九州	1996		381W×307H		
74		「Lime Works」より 鳥形山	1996		381W×307H		
75		「Lime Works」より 長坂	1996		381W×307H		
76	北島敬三	「PLACES」より	2007	インクジェット・プリント	750W×600H	国内	26
77		「PLACES」より	2009		750W×600H		
78		「PLACES」より	2009		750W×600H		
79		「PLACES」より	2007		750W×600H		
80	松江泰治	「moere」より JP-01 03	2004	インクジェット・プリント	318W×245H	国内	28
81		「moere」より JP-01 07	2004		318W×245H		
82		「moere」より JP-01 10	2004		318W×245H		
83	ジョエル・スターンフェルド	「アメリカン・プロスペクツ」より ヴァージニア州マクリーン、1978年12月	1978	ダイ・トランスファー・プリント	494W×383H	海外	1
84		「アメリカン・プロスペクツ」より 鉄砲水の後、カリフォルニア州ランチョウ・ミラージュ、 1979年7月	1979		479W×384H		
85		「アメリカン・プロスペクツ」より ウエットン・ワイルド・アクアティック・テーマ・パーク、フロリダ州 オーランド、1980年9月	1980		483W×375H		

no.	作家名	作品タイトル	制作年	技法	画像サイズ	受賞	回
86	オリーボ・バルビエリ	『夜』より カブリアーゴ、レッジョ、エミリア	1990	発色現像方式印画	381W×256H	海外	8
87		『夜』より ローマ	1987		190W×380H		
88		『夜』より カブリアーゴ、レッジョ、エミリア	1990		381W×256H		
89	アンソニー・ヘルナンデス	「ホームレスの風景」より	1996	ゼラチン・シルバー・プリント	348W×388H	海外	14
90		「ホームレスの風景」より	1996		392W×395H		
91		「ホームレスの風景」より	1996		393W×395H		
92		「ホームレスの風景」より	1996		391W×393H		
93		「ホームレスの風景」より	1996		393W×394H		
94	伊奈英次	「ゾーン」より NTT 名崎無線送信所 茨城県猿島郡三和町	1986	発色現像方式印画	465W×377H	新人	4
95		「ゾーン」より KDD 山俣送信所 茨城県猿島郡三和町	1986		461W×367H		
96		「ゾーン」より KDD 北浦送信所 茨城県行方郡北浦町	1986		465W×375H		
97		「ゾーン」より 在日米海軍上瀬谷電波受信基地 神奈川県横浜市	1985		465W×376H		
98		「ゾーン」より 在日米空軍三沢基地第6920電子保安軍	1987		466W×377H		
99	糸崎公朗	「フォトモ」より 浅草 場外馬券場トナリのビル	2003	カラーコピープリント(紙製立体)		新人	19
100		「フォトモ」より 五重塔通り商店街	2003				
101		「フォトモ」より 浅草の駐車場	2003				
102		「フォトモ」より 狛江 交番横巨大標語看板	2002				
103		「フォトモ」より 阿佐ヶ谷駅前 質屋入口路地	2002				
104		「フォトモ」より 中央線快速高雄行	2002				
105		「フォトモ」より ソウル市南大門市場	2002				
106		「フォトモ」より 中野区上高田 サビタン空き店舗	2002				
107		「フォトモ」より 渋谷区 ひゃっけんだな	2002				
108		「フォトモ」より 小金井市 高所ドア・セバレートタイプ	2001				
109		「フォトモ」より 小岩駅南口 あげぼの通り商店街	2001				
110	「フォトモ」より 原宿竹下通り	1999					
111	石塚元太良	『Pipeline/Iceland』より	2012	発色現像方式印画	689W×562H	新人	30
112		『Pipeline/Iceland』より	2012		688W×562H		
113		『Pipeline/Iceland』より	2012		688W×562H		
114		『Pipeline/Iceland』より	2012		686W×560H		
115	萩原義弘	庶路炭鉱 白糠町	2009	ゼラチン・シルバー・プリント	360W×360H	特別	26
116		手稲鉱山 札幌市	2000		360W×360H		
117		夕張駅と石炭の歴史村 1983&2008 1983年	1983	ゼラチン・シルバー・プリント	560W×420H		
118		夕張駅と石炭の歴史村 1983&2008 2008年	2008	発色現像方式印画	560W×420H		
119		社光(ズリ捨て線トンネルから)1983&2008 1983年	1983	ゼラチン・シルバー・プリント	560W×420H		
120		社光(ズリ捨て線トンネルから)1983&2008 2008年	2008	発色現像方式印画	560W×420H		
121	吉村和敏	『CEMENT』より 粉碎した石灰石を運搬するベルトコンベア	2010	タイプCプリント	548W×432H	特別	31
122		『CEMENT』より 工場全景	2010		548W×432H		
123		『CEMENT』より セメント粉砕器	2010		548W×410H		
124		『CEMENT』より 石灰石投入	2010		432W×548H		

Ⅲ 現代のヴィジョン ～日常を超えて～

写真家たちにとって人間は最も身近な被写体のひとつであるが、その記録のみならず、人間存在についての探求が果敢に行われてきた。矛盾や不条理との葛藤、身体や性についての悩みや疑問、複雑に交錯する感情や欲望など、さまざまな問題を内包する人間への思索を深め、写真家たちはその内面的な領域を表現する。それは現代のヴィジョンなのである。

no.	作家名	作品タイトル	制作年	技法	画像サイズ	受賞	回
125	植田正治	「砂丘」より 土門拳とモデル	1949	ゼラチン・シルバー・プリント	242W×238H	国内	4
126		「砂丘」より 砂丘人物	1950		242W×238H		
127		「砂丘」より モデルとゲイジユツ写真家たちIV	1949		242W×238H		
128		「砂丘」より 山川惣治像	1986		242W×238H		
129		「砂丘」より シリーズ「砂丘モード」より	1983		242W×238H		
130	石内 都	「SCARS」より 傷跡-1960年、やけど #3、東京、1995年/1998年	1995	ゼラチン・シルバー・プリント	379W×541H	国内	15
131		「SCARS」より 傷跡-1948年、病気 #6、東京、1993年/1996年	1993		378W×541H		
132		「SCARS」より 傷跡-1960年、やけど #7、東京、1995年/1998年	1995		544W×382H		
133		「SCARS」より 傷跡-1990年、病気 #9、東京、1994年/1997年	1994		542W×380H		
134		「SCARS」より 傷跡-1976年、事故 #24、ニューヨーク、1996/1998年	1996		381W×541H		

no.	作家名	作品タイトル	制作年	技法	画像サイズ	受賞	回
135	細江英公	『妖精物語 ルナロッサ』より ひまわりの歌 1992	1992	ゼラチン・シルバー・プリント	363W×452H	国内	17
136		『妖精物語 ルナロッサ』より 浮世絵の女 1992	1992		363W×417H		
137		『妖精物語 ルナロッサ』より 夜明け前 1992	1992		364W×421H		
138		『妖精物語 ルナロッサ』より 二十世紀末の証人たち 1992	1992		359W×465H		
139		『妖精物語 ルナロッサ』より 20世紀からのおくりもの 1996	1996		355W×412H		
140	森村泰昌	「Mのポートレート」より No.72/A	1995	ゼラチン・シルバー・プリント	240W×240H	国内	18
141		「Mのポートレート」より No.37/A	1993		310W×207H		
142		「Mのポートレート」より No.31/A	1993		207W×310H		
143		「Mのポートレート」より No.46/A	1994		207W×310H		
144		「Mのポートレート」より No.02/A	1998		218W×309H		
145	杉浦邦恵	「The Artist Papers」より 森山大道 Ap2	2003	フォトグラム	750W×990H	国内	23
146		「The Artist Papers」より 草間彌生 Cp artist proof	2003		750W×990H		
147	佐藤時啓	From the series "Wandering Camera 2, In the Alps"	2015	アーカイヴァル・ピグメント・プリント	795W×600H	国内	31
148		From the series "Wandering Camera 2, In the Alps"	2015		795W×600H		
149		From the series "Wandering Camera 2, In the Alps"	2015		795W×600H		
150		From the series "Wandering Camera 2, In the Alps"	2015		795W×600H		
151		From the Series "Photo-Respiration" 光一呼吸 #272 Koto-ku Aomi	1996		1307W×1035H		
152	From the Series "Photo-Respiration" 光一呼吸 #155 Mayachi	1992	1307W×1035H				
153	ヤン・ザウデク	『ヤン・ザウデクの世界』より 雨と炎 #366	1989	ゼラチン・シルバー・プリント	372W×290H	海外	7
154		『ヤン・ザウデクの世界』より #388	1989		385W×288H		
155		『ヤン・ザウデクの世界』より 女と男の武器 #400	1989		389W×280H		
156	グンドウラ・シュルツェ	「大きなステップと小さなステップ」より ドレスデン、1989	1989	発色現像方式印画	390W×585H	海外	12
157		「大きなステップと小さなステップ」より ドレスデン、1989	1989		390W×582H		
158		「大きなステップと小さなステップ」より ドレスデン、1989	1989		585W×392H		
159		「大きなステップと小さなステップ」より ドレスデン、1990	1990		585W×392H		
160		「大きなステップと小さなステップ」より ベルリン、1987	1987		390W×585H		
161	今 道子	『イート』より いなだの帽子	1986	ゼラチン・シルバー・プリント	441W×446H	新人	3
162		『イート』より 毛蟹と海老とセーター	1985		441W×446H		
163		『イート』より 白百合氏と階段	1983		441W×446H		
164		『イート』より 鯛の頭とカスミノウ	1984		441W×446H		
165		『イート』より セルフ・ポートレート	1986		441W×446H		
166	やなぎ みわ	「The White Casket」より 白い小箱 4連作	1993	発色現像方式印画	291W×392H	新人	15
167		「The White Casket」より 白い小箱 4連作	1993		291W×392H		
168		「The White Casket」より 白い小箱 4連作	1993		291W×392H		
169		「The White Casket」より 白い小箱 4連作	1993		291W×392H		
170	安楽寺えみ	『HMMT?』より	2004	発色現像方式印画	533W×377H	新人	22
171		『HMMT?』より	2004		533W×377H		
172		『HMMT?』より	2004		533W×377H		
173		『HMMT?』より	2004		533W×377H		
174	北野 謙	「our face」より 北海道東川町幼児センター「ももんがの家」の子どもたち63人を重ねた肖像2004	2004	ゼラチン・シルバー・プリント	280W×355H	新人	27
175		「our face」より 縫製会社Orchid Styles Ltd.でミシンを踏む女工さん35人を重ねた肖像(ダカ、バングラディシュ) 2008	2004		280W×355H		
176		『浮游する都市 Flow and Fusion』より 東京ドーム 1990	1990		350W×370H		

*「回」は、「写真の町」東川賞の回数を示す。
*「受賞」は、国内が国内作家賞、海外が海外作家賞、新人が新人作家賞、特別が特別作家賞の受賞を示す。
*所蔵は、すべて、写真文化首都「写真の町」東川町。